

103-210

問題文

本症例に対し、薬剤師が行う対応の中で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. セフジニル細粒10%の投与量について医師に疑義照会する。
2. セフジニル細粒10%からレボフロキサシン水和物製剤への処方変更を医師に提案する。
3. セフジニル細粒10%は鉄剤と一緒に服用するように指導する。
4. 症状が途中で改善したら服用を終了するように指導する。
5. 尿や便が赤色調を呈することがあると説明する。

解答

問210：4問211：1, 5

解説

問210

アミド結合の N は塩基性が低く、最も配位しづらいと考えられます。よって、正解は 4 です。

問211

選択肢 1 は、適切な記述と考えられます。セフジニルと鉄のキレート形成により吸収が低下するため、この投与量では適切な薬効が期待できない、という点から疑義照会するという対応です。

選択肢 2 ですが
レボフロキサシンも鉄とのキレートを形成します。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが
キレート形成を避けるため、服用時期を「ずらすよう」指導すべきです。「一緒に服用」ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが
耐性菌の発生を避けるため、症状が改善しても5日分飲み切るように指導します。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい記述です。
代謝物により、色がつくことがあります。

以上より、正解は 1,5 です。